

(様式1) 新規評価シート

事業名		県営中山間総合整備事業		路河川名等	-				
事業毎の通番		1	市町村名	飯島町	箇所名(ふりがな)	日曾利(ひっそり)			
事業の位置づけ	県総合5か年計画における位置づけ	2-1 ② 国内外での販路拡大の支援と稼ぐ力の向上 3-1 ① 暮らしの場としての農山村の支援		SDGsの関連目標	 				
	関連する計画や重点施策	長野県食と農業農村振興計画 長野県農業農村整備計画		関連する事業プロジェクト	-				
	現状と課題	本地区は、飯島町の東部に位置する中山間地域である。農家の高齢化や後継者不足により、営農を継続することが困難となっている耕地が生じている。用排水路の老朽化が進んでおり、農道の幅員も狭いため、農地集積・集約が進まない要因となっている。							
	事業目的	狭小な農地の区画拡大を行うことで農地集積・集約を促進し、農業生産効率を上げる。農業体験施設及び体験型観光農園による交流人口を増加させることにより、地域の活性化を図る。							
着手年度	2024年度(令和6年度)		事業期間	7年間	事業費(千円)	財源内訳(千円)			
完了年度(予定)	2030年度(令和12年度)					国庫	その他	県債	一般財源
全体事業内容	受益面積 A=20.2ha 区画整理 A=20.2ha 用排水路整備 L=372m 処理加工施設 N=1箇所 集出荷貯蔵施設 N=1箇所 交流施設 N=1箇所				980,000	539,000	127,400	259,000	29,000
事業概要									
	<p>地区全景(天竜川から東方向)</p>								
事業効果	主な受益対象	受益面積 A=20.2ha							
	期待される効果	農地集積・集約化による地域農業の経営基盤強化 交流人口増加による地域の活性化				費用便益比(B/C) ※B=便益、C=費用	1.4		
	人口減少を踏まえた将来の活用見込み	地域住民を主体とした農業法人を立ち上げ、維持管理を行う							
計画熟度	地域からの要望経緯及び地域の関わり	H30.12地元から県へ事前協議 H31.4地域住民による準備委員会を設立し検討を始める。 R元.9地権者等から理解を得たため、準備委員会を発展的に解散し、事業委員会を設立							
	事業説明等の経緯	H30.12地元説明、R1.6現地調査、R1.10営農計画策定会議、R2.6全体会議、R2.9全体会議、R2.12全体会議、R3.3全体会議、R3.4総会、R3.6事業説明会、R3.12現地境界確認、R4.4総会、R4.5事業説明会、R4.11営農計画説明会、R3.3 飯島町の農村振興計画に位置付け							
評価結果	所管課の意見	本地区は、狭小な農地や用排水路の老朽化、幅員の狭い農道など営農に支障をきたしている。中山間の総合整備により、耕作条件を改善し農地集積・集約を進め農業生産効率を上げるとともに、農業体験施設等の整備により交流人口を増加させ、地域の活性化を図る必要があることから、事業着手は妥当と判断する。						妥当性評価※	優先度評価※
	政策評価室の意見	所管課の意見が妥当であると判断する。						○	4.1
	県の評価案	事業着手	評価監視委員会意見	-		評価の決定	事業着手		

※【妥当性評価】事業実施の妥当性を「○」「×」で判定 ※【優先度評価】事業着手の優先度を5点満点で評価(数字が大きいほど優先度が高い)